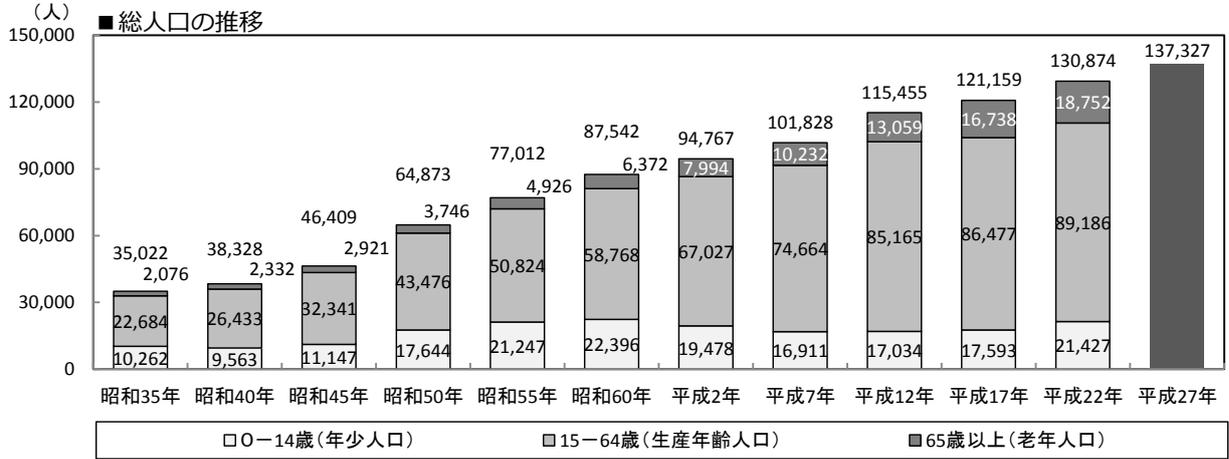


健康をめぐる草津市の現状

1. 人口の状況

昭和 29 年の市政施行以来、草津市の人口は、大きく増加しています。

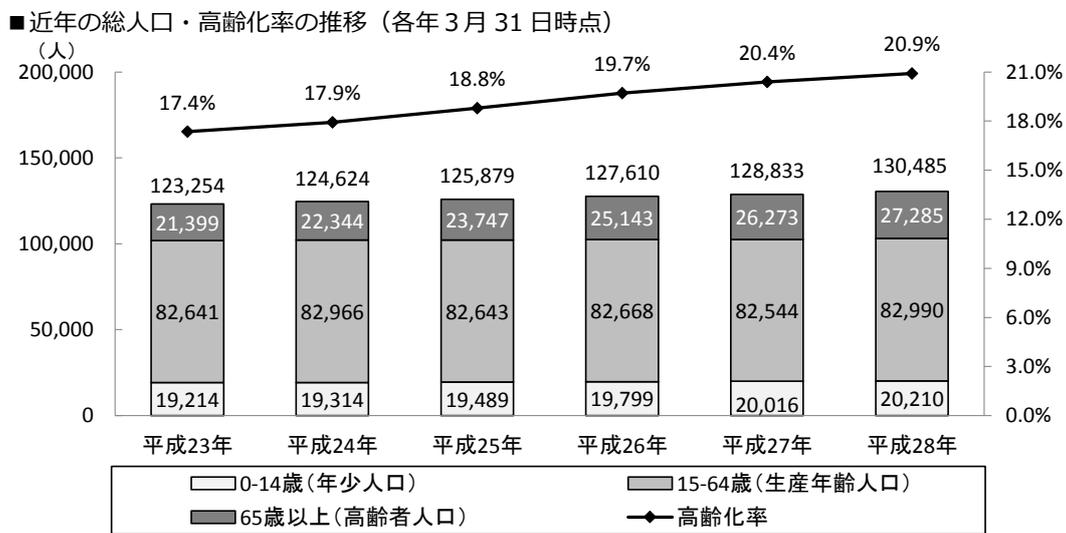


※総人口は年齢不詳分も含む。平成 27 年は速報値。

資料：国勢調査

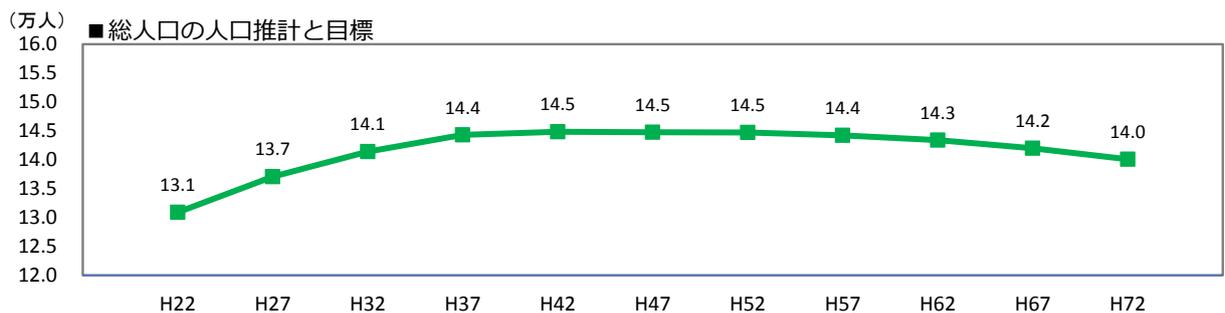
近年の人口推移をみると、平成 27 年 9 月には 13 万人に達しています(住基ベース)。高齢化率は年々上がっており、過去 3 年間では毎年 0.5~0.9 ポイント上昇しています。

※滋賀県の発表(人口推計ベース)では、平成 28 年 4 月 1 日現在の高齢化率は県 24.6%、国 27.1%



資料：住民基本台帳

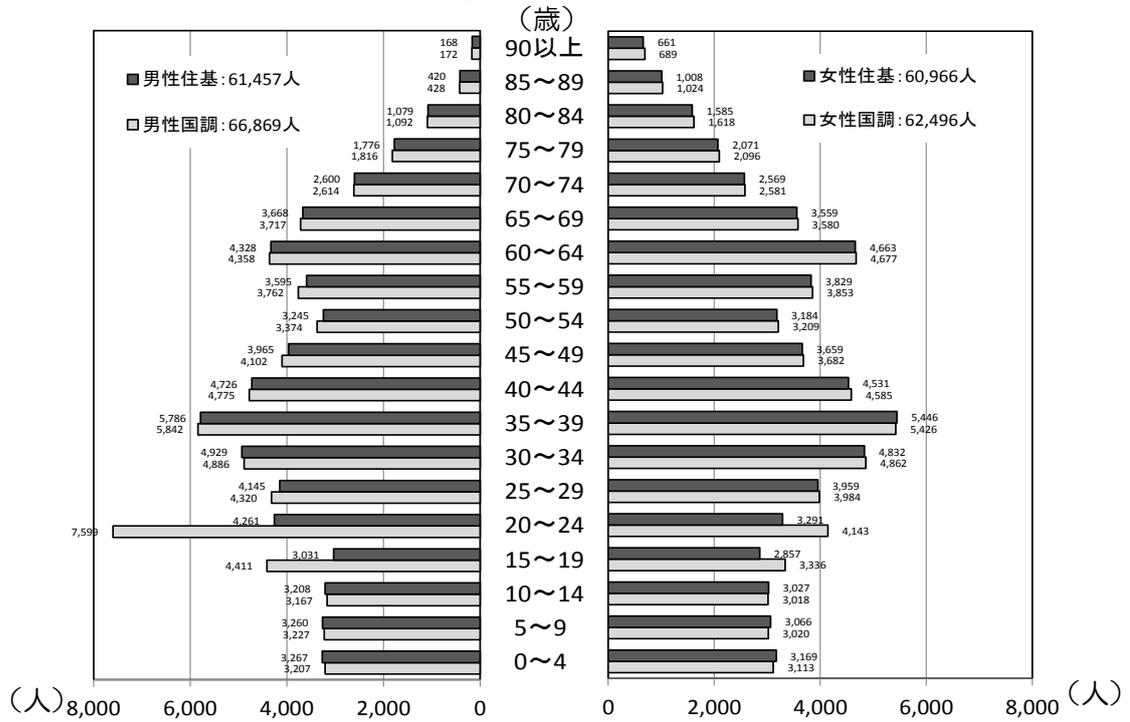
今後は、平成 42 年まで増加を続け、その後ゆるやかに減少していく見込みです。



資料：草津市人口ビジョン

現状の人口の年齢構成をみると、平成 22 (2010) 年現在、35～39 歳の人口が男女ともに多い状況です。4 人の生産年齢人口で 1 人の高齢者を支えている現状ですが、平成 72 (2060) 年には、人口ピジョンの目標が達成されたとしても、1.6 人で 1 人の高齢者を支えることとなります。

■人口ピラミッド (平成 22 年 10 月 1 日現在)

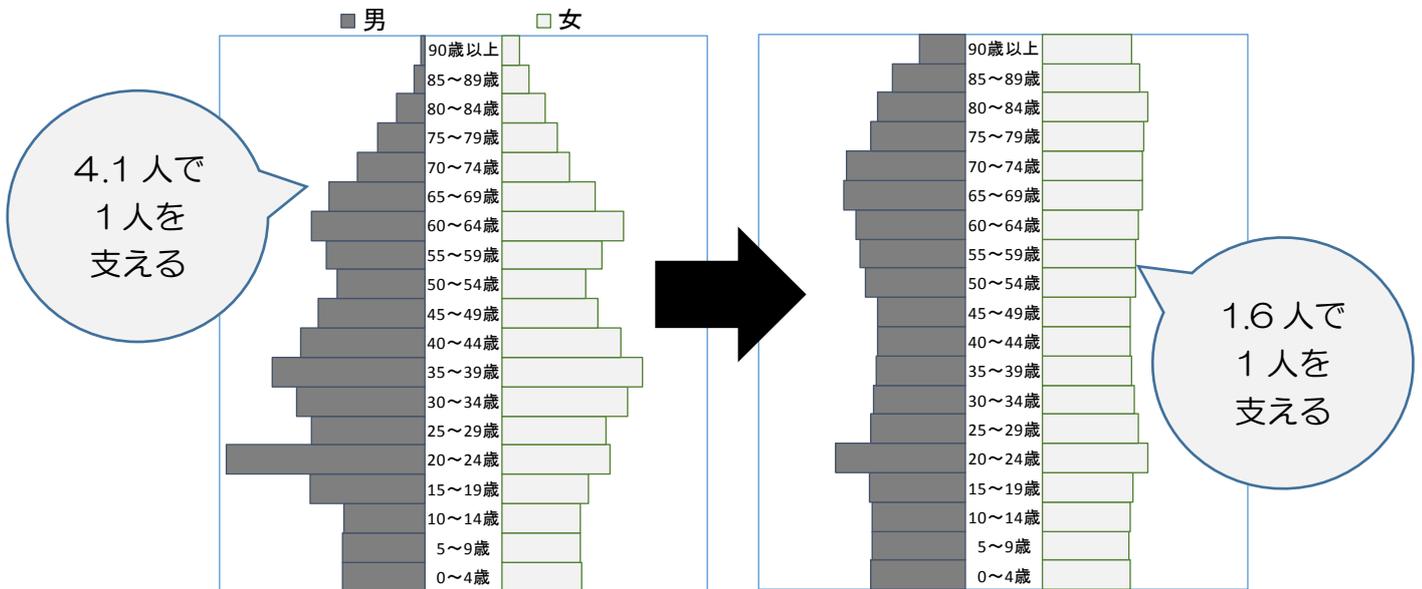


資料：国勢調査、住民基本台帳

■今後の見通し

平成22(2010)年 (国勢調査、実績)

平成72(2060)年 (草津市 人口目標)

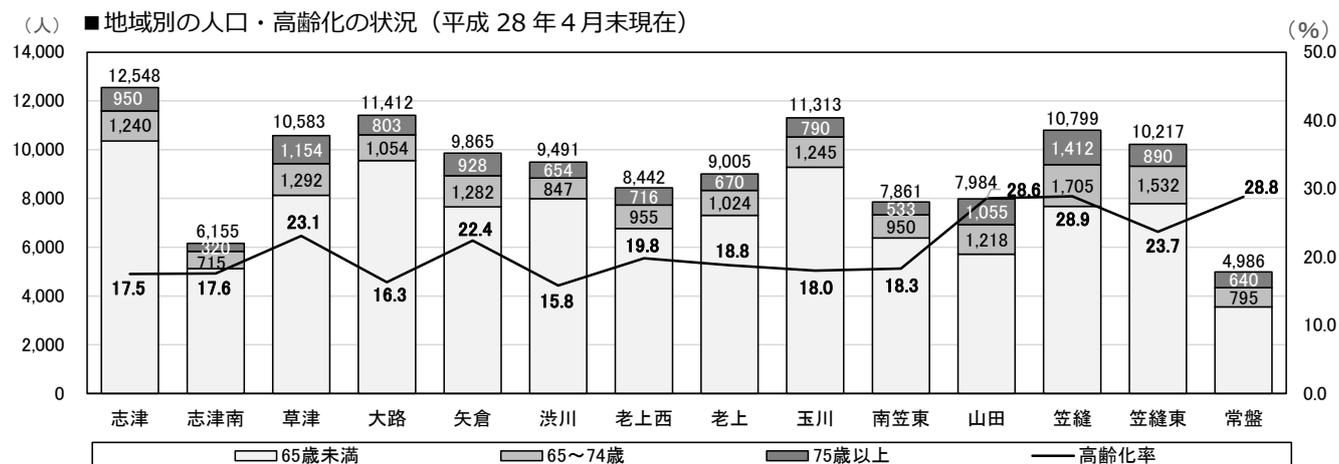


総人口	130,874 人
年少人口比率(0～14歳:%)	14.4%
生産年齢人口比率(15～64歳:%)	69.0%
老年人口比率(65歳以上:%, 高齢化率)	16.6%

総人口	14.0 万人
年少人口比率(0～14歳:%)	15.1%
生産年齢人口比率(15～64歳:%)	53.4%
老年人口比率(65歳以上:%, 高齢化率)	31.5%

資料：草津市人口ピジョン

小学校区ごとの人口・年齢別割合をみると、各地域で高齢化の状況は異なります。人口は、志津、大路、玉川で多く、高齢化率は、笠縫、常盤、山田で高くなっています。

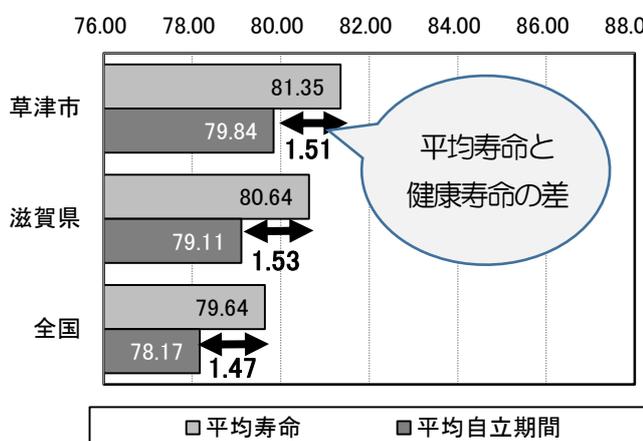


資料：住民基本台帳

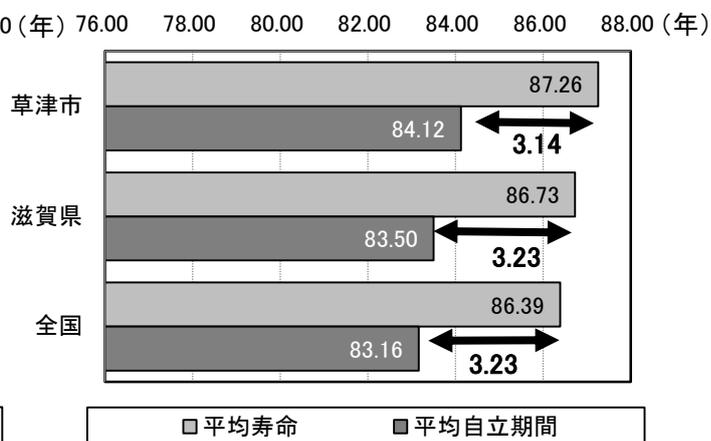
2. 平均寿命と健康寿命

健康寿命は県・国よりも長い状況です。健康寿命と平均寿命の差についてみると、男性は県と同水準で、国よりも長く、女性は県・国よりも短い状況となっています。

【男性の健康寿命と平均寿命】



【女性の健康寿命と平均寿命】



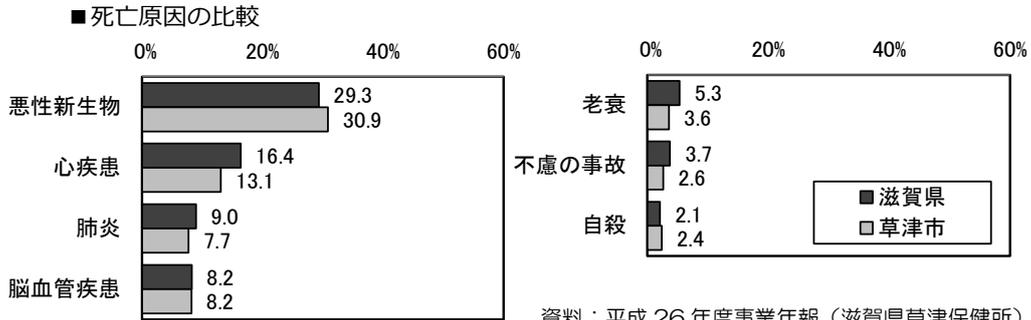
資料：健康づくり支援資料集（平成 26 年度版）＜滋賀県＞

※以下データから算出されています。

（厚生労働省 平成 22 年市町村別生命表／総務省 平成 22 年国勢調査 市町村別人口／滋賀県国民健康保険団体連合会 市町別要支援・要介護別認定者数（平成 22 年 10 月分）

3. 死亡の状況

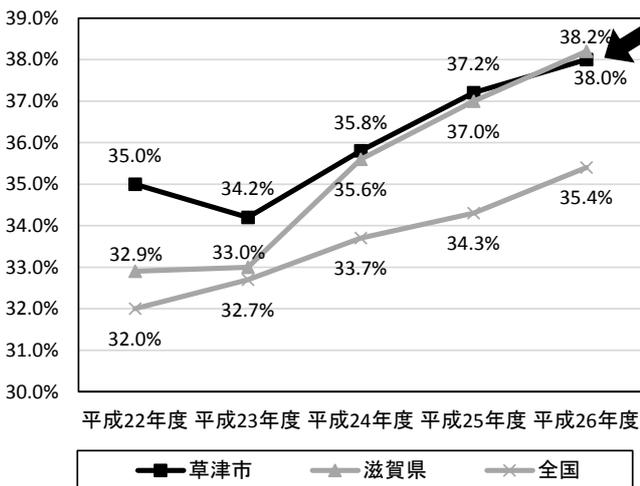
死因についてみると、傾向は県と同様である一方で、比較的「悪性新生物」が多くなっています。



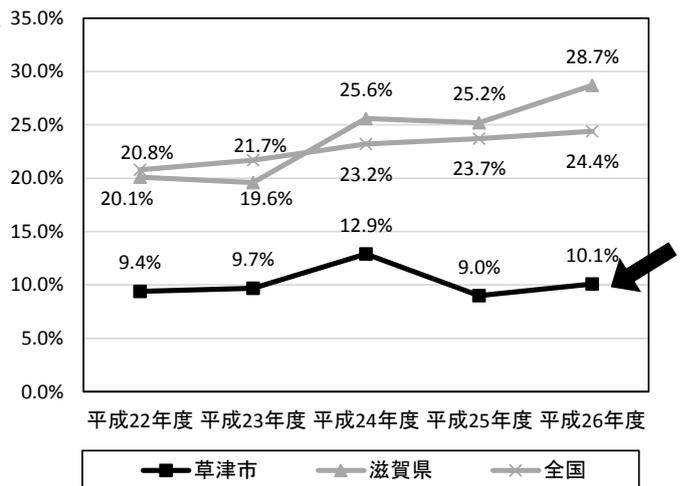
4. 特定健診・保健指導の状況

特定健診実施率は平成 26 年度では 38.0%と県平均よりも低く、国（国保）平均よりは高い状況です。特定保健指導の実施率は平成 26 年度では 10.1%と県・国平均よりも低い状況です。

■ 特定検診の実施率の推移



■ 特定保健指導の実施率の推移



資料：健康管理施策立案のための基礎資料集（滋賀県国民健康保険団体連合会）

メタボリックシンドローム該当者の割合は、県・国よりも高い状況ですが、予備群の割合は、県・国の数値を下回っています。非肥満者高血糖者の割合は、県・国、同規模保険者よりも高い状況です。

■ メタボリックシンドローム（該当者・予備群）の割合（平成 27 年度）

		草津市	同規模	滋賀県	国
該当者	全体	18.0%	16.8%	17.2%	16.7%
	男性	29.6%	26.8%	27.5%	26.5%
	女性	9.5%	9.5%	9.5%	9.2%
予備群	全体	8.3%	10.5%	10.0%	10.7%
	男性	14.0%	16.7%	16.6%	17.1%
	女性	4.1%	5.8%	5.1%	5.8%
非肥満高血糖者		11.9%	9.8%	8.8%	9.3%

特定健診の有所見項目の順位についてみると、平成 24 年度以降、男女ともに HbA1c が 1 位となっています。

■ 特定健診有所見項目の年度比較と順位

【男性】

年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
	有所見項目	人数	割合										
順位	1	HbA1c	1,083人	60.9%	HbA1c	1,728人	64.7%	HbA1c	1,711人	61.8%	HbA1c	1,684人	60.0%
	2	LDL	1,285人	50.2%	LDL	1,367人	51.0%	LDL	1,424人	49.5%	収縮期血圧	1,419人	50.3%
	3	収縮期血圧	1,253人	49.0%	収縮期血圧	1,342人	50.1%	腹囲	1,379人	47.9%	LDL	1,347人	47.7%
	4	腹囲	1,225人	47.9%	腹囲	1,293人	48.3%	収縮期血圧	1,374人	47.7%	腹囲	1,341人	47.5%
	5	空腹時血糖	322人	39.9%	空腹時血糖	524人	42.1%	空腹時血糖	512人	42.5%	空腹時血糖	510人	43.2%

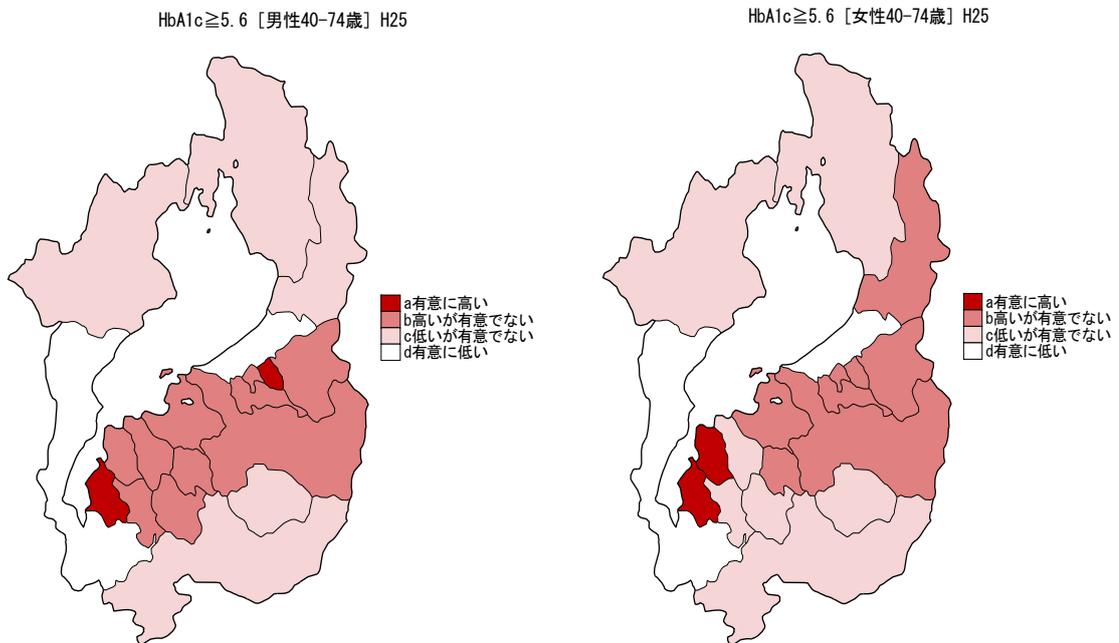
【女性】

年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
	有所見項目	人数	割合										
順位	1	LDL	2,061人	59.6%	HbA1c	2,274人	63.3%	HbA1c	2,303人	59.2%	HbA1c	2,192人	56.8%
	2	HbA1c	1,336人	59.3%	LDL	2,174人	60.2%	LDL	2,261人	57.9%	LDL	2,193人	56.5%
	3	収縮期血圧	1,541人	44.6%	収縮期血圧	1,632人	45.2%	収縮期血圧	1,746人	44.7%	収縮期血圧	1,753人	45.1%
	4	空腹時血糖	305人	24.1%	空腹時血糖	424人	25.7%	空腹時血糖	432人	26.1%	空腹時血糖	406人	23.3%
	5	中性脂肪	738人	21.3%	中性脂肪	789人	21.8%	中性脂肪	864人	22.1%	中性脂肪	803人	20.7%

資料：健康管理施策立案のための基礎資料集（滋賀県国民健康保険団体連合会）

HbA1c の有所見率についてみると、草津市は男女とも県平均よりも有意に高い状況です。

■ HbA1c の有所見率の状況（平成 25 年度）



資料：滋賀県保険者協議会

※滋賀県保険者協議会において、国保に加え、協会けんぽ、健保組合も合わせデータ分析しているため、市民全体の傾向として捉えられます。

5. 医療の概況

病院数、診療所数、病床数、医師数いずれも県・国の数値と同等か、上回っています。

■草津市内の医療の概況（人口千人対比）（平成27年度）

	草津市	同規模	滋賀県	国
病院数	0.3	0.3	0.2	0.2
診療所数	4.3	2.8	3.2	2.9
病床数	51.9	48.9	46.5	46.1
医師数	9.7	7.7	9.7	8.4

資料：国保データベース（KDB）システム

6. 医療費の状況

国保医療費の割合を疾病別にみると、慢性腎不全（透析あり）、糖尿病、高血圧症、脂質異常症が上位4位を占め、生活習慣病の割合が高い状況となっています。

■国保医療費の割合

順位	疾病名	割合
1	慢性腎不全（透析あり）	6.8%
2	糖尿病	5.5%
3	高血圧症	4.4%
4	脂質異常症	3.6%
5	関節疾患	3.4%
6	C型肝炎	3.3%
7	狭心症	3.3%
8	統合失調症	2.7%
9	不整脈	2.5%
10	うつ病	2.1%

資料：国保データベース（KDB）システム

外来1人当たりの費用額をみると、草津市は、平成23年度から平成25年度までワースト1、平成26年度でワースト2となっているものの、金額は前年よりも増えています。

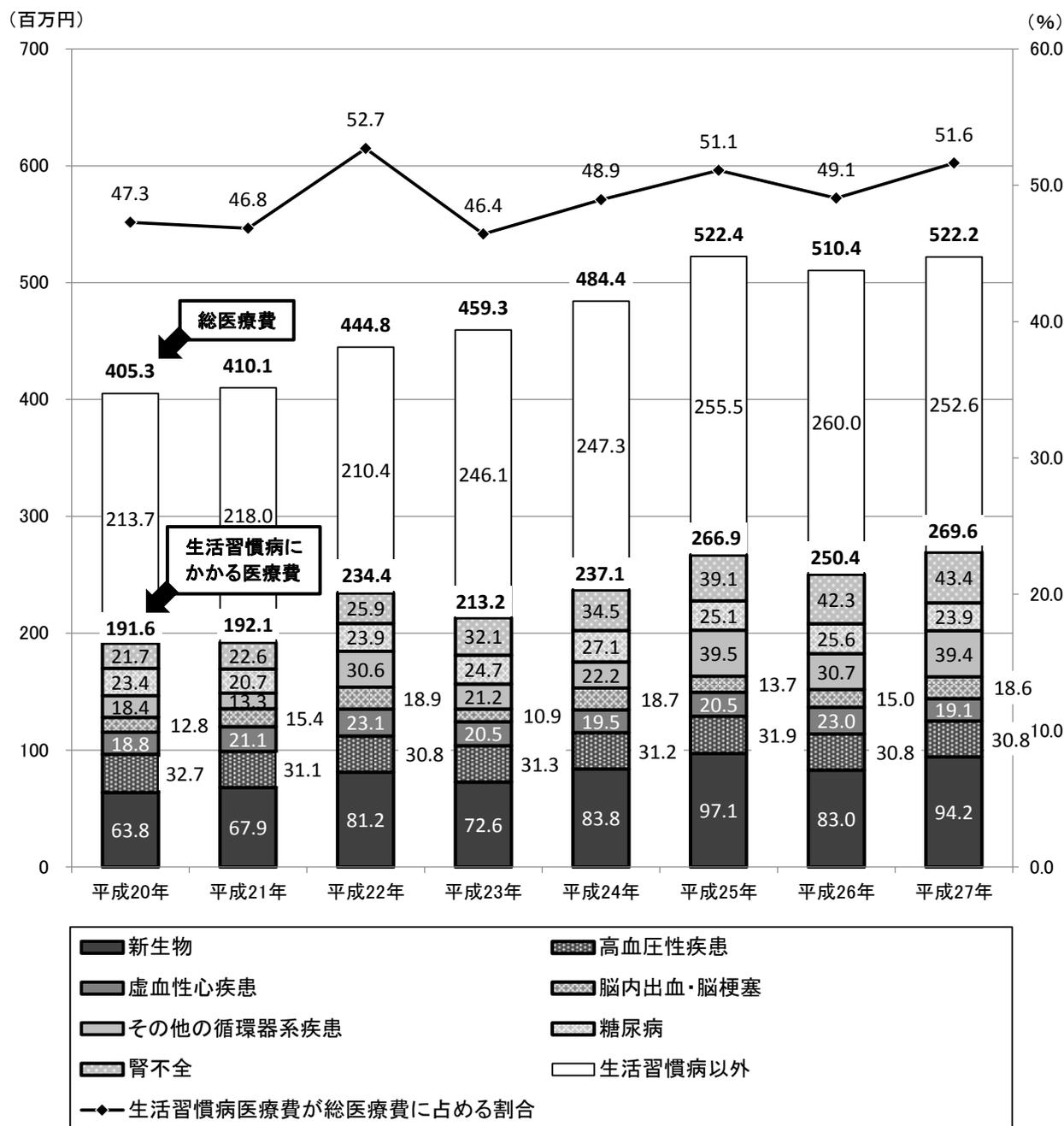
■外来1人当たり費用額

県内 順位	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	市町名	金額	市町名	金額	市町名	金額	市町名	金額
1	草津市	118,487円	草津市	119,084円	草津市	120,046円	野洲市	125,705円
2	栗東市	117,266円	甲賀市	117,893円	多賀町	118,308円	草津市	123,709円
3	甲賀市	116,742円	野洲市	116,172円	野洲市	117,348円	多賀町	120,337円
	滋賀県	108,721円	滋賀県	109,264円	滋賀県	110,730円	滋賀県	114,600円
	国	110,129円	国	111,926円	国	—円	国	—円

資料：健康管理施策立案のための基礎資料集（滋賀県国民健康保険団体連合会）

40～74 歳（特定健診対象者）の総医療費は毎年増加しています。生活習慣病にかかる医療費は、平成 25 年以降は、各年とも 2 億 5 千万円を超えています。生活習慣病にかかる医療費が総医療費に占める割合は、50%前後で推移しています。県では例年 45%程度であるため、草津市はこの割合が高い状況です。

■40～74 歳（特定健診対象者）における総医療費・生活習慣病にかかる医療費の推移および、生活習慣病にかかる医療費が総医療費に占める割合の推移

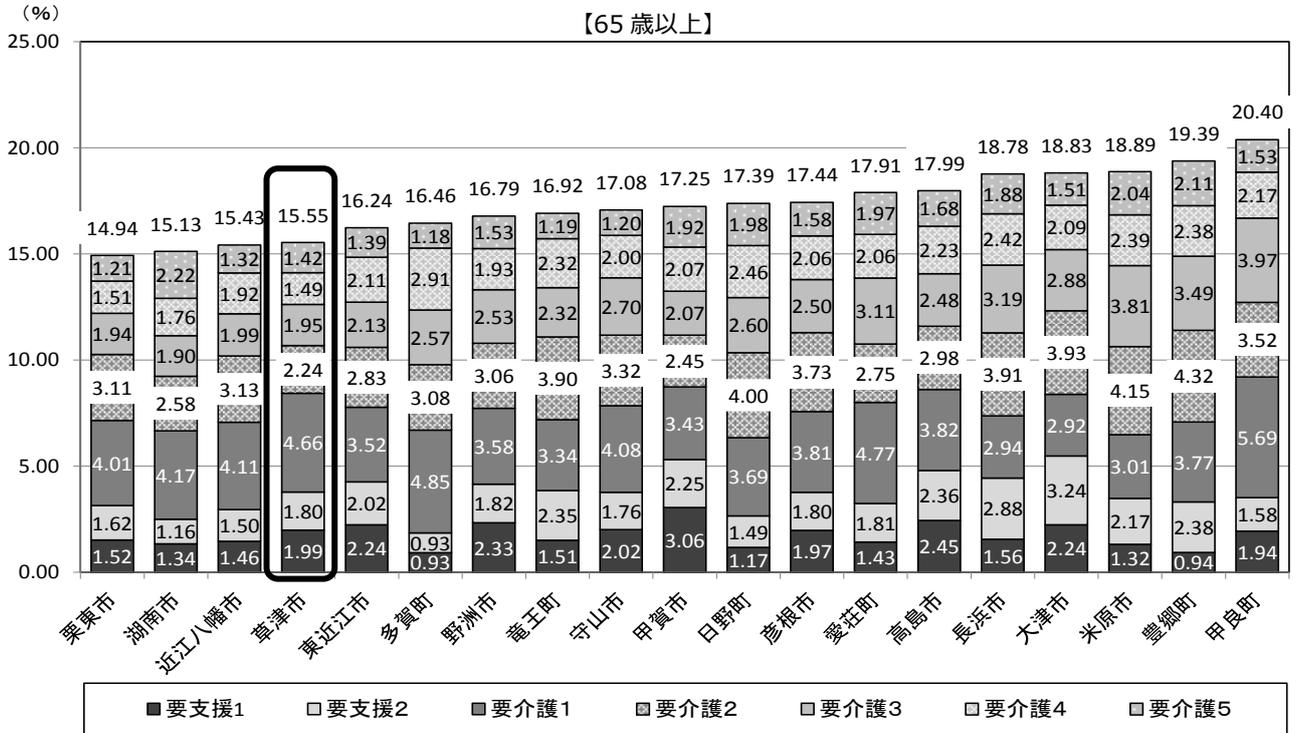


資料：健康管理施策立案のための基礎資料集 各年5月診療分（滋賀県国民健康保険団体連合会）

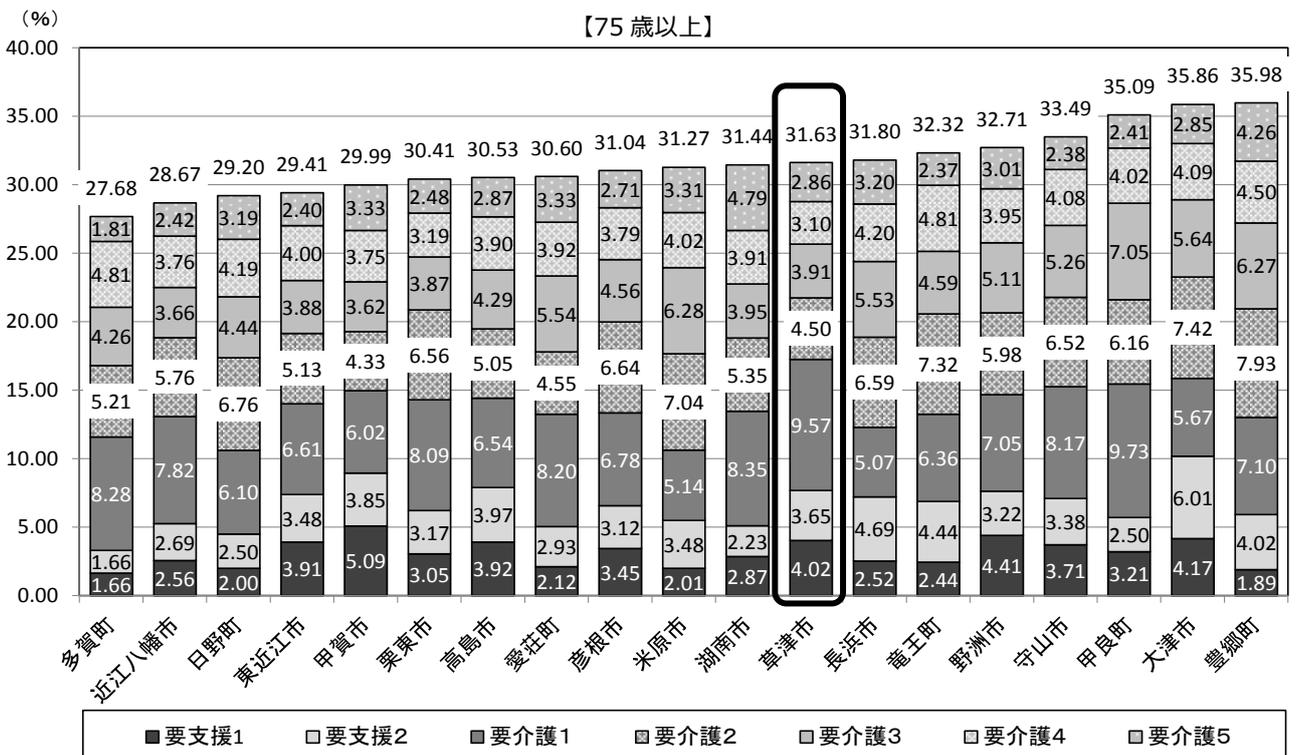
7. 要介護認定の状況

草津市の要介護（支援）認定率をみると、65歳以上では滋賀県内の他市町村のなかで4番目に低くなっていますが、75歳以上では8番目に高くなっています。要介護3以上の重度の方の割合は比較的低い状況です。

■市町村別要介護（支援）認定率（平成27年3月末現在）



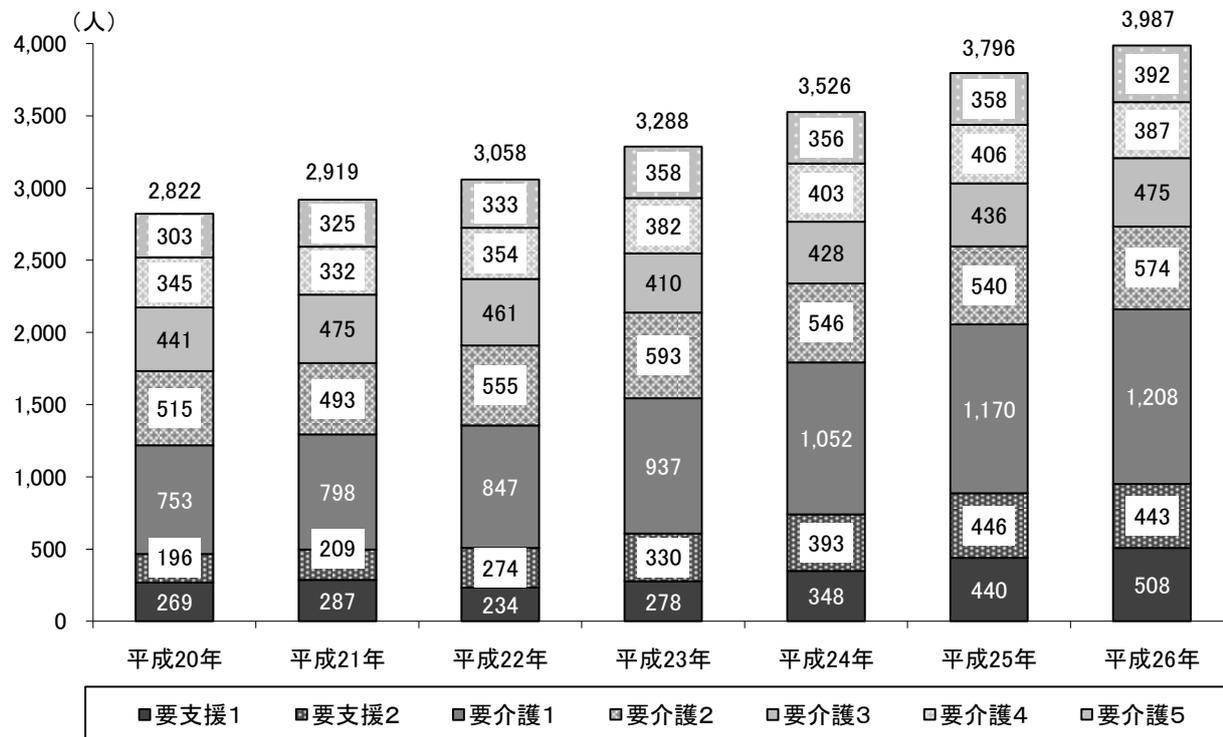
資料：健康づくり支援資料集（平成26年度版）＜滋賀県＞



資料：健康づくり支援資料集（平成26年度版）＜滋賀県＞

要支援・要介護認定者数は、平成20年から26年にかけて増加しています。要支援1・2および要介護1が大幅に増加しています。要介護5も、増加傾向がみられます。

■要支援・要介護認定者数の推移



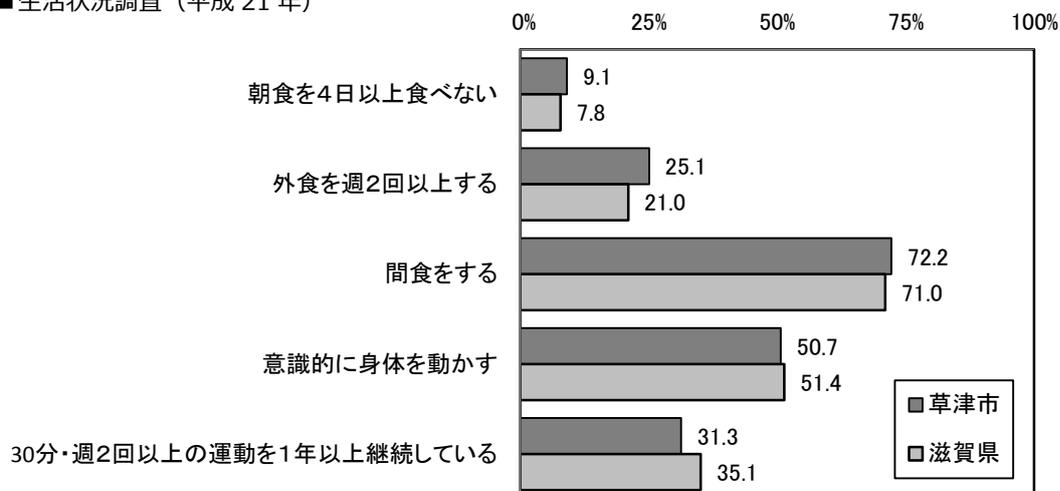
資料：介護保険事業状況報告

8. 生活習慣の状況

(1) 理想的な生活習慣状況の県との比較

生活習慣の状況についてみると、それぞれの項目において、理想的な生活習慣を送っている人が県と比較して少ない状況です。

■生活状況調査（平成21年）



資料：平成21年度「滋賀の健康・栄養マップ」

(2) 野菜の摂取量

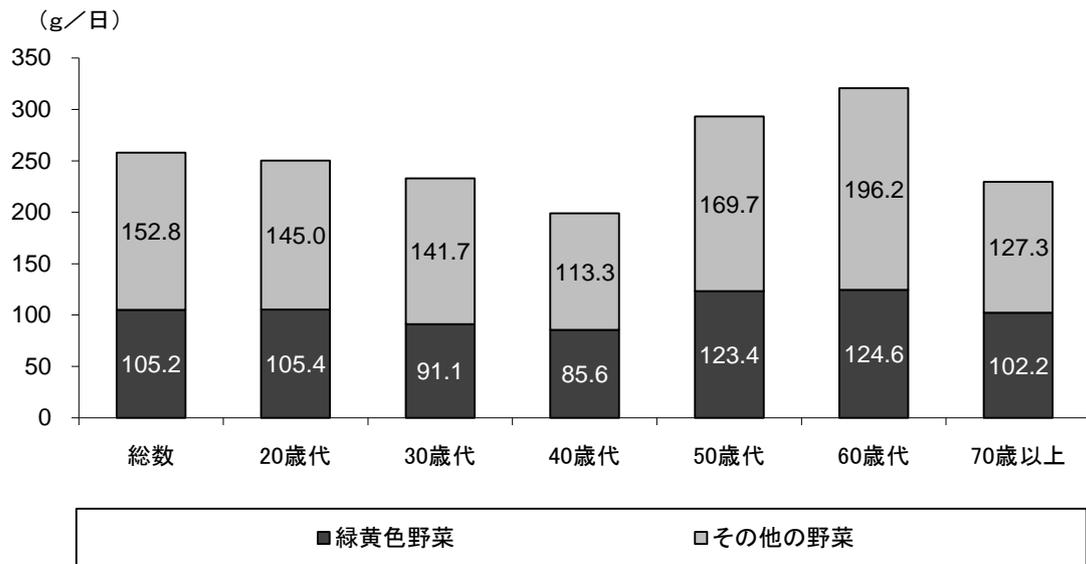
草津市の成人1人1日当たりの野菜摂取量は県・国と比較して少なく、適正量を大きく下回っています。年代別にみると、特に40代の摂取量が少ない状況となっています。

■草津市の野菜の摂取量（県・国との比較）

区分	適正量	草津市	滋賀県	国
摂取量	350.0g以上	258.0g	274.6g	281.7g

資料：健康くさつ21（第2次）

■草津市の年代別の野菜の摂取量（平成21年度）

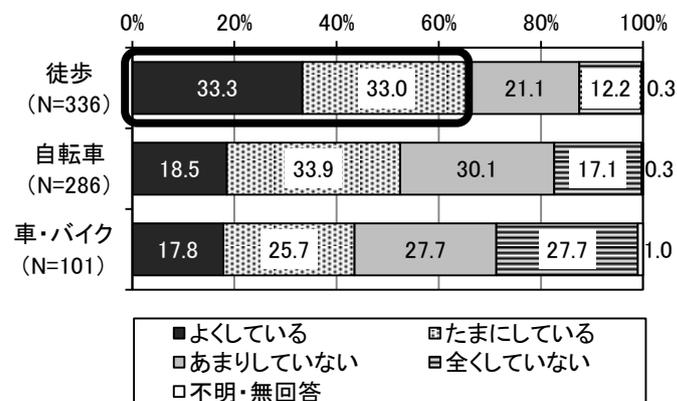


資料：平成21年度「滋賀の健康・栄養マップ」

(3) 意識的な運動の状況（日常的な移動手段別）

歩いて10分ほどのところに出かける際によく使う交通手段の回答者ごとにもみると、日常的に歩いている人の方が、意識的な運動を心がけている人が多い状況となっています。

■日頃から自分の健康づくりのために、意識的に運動をしているか

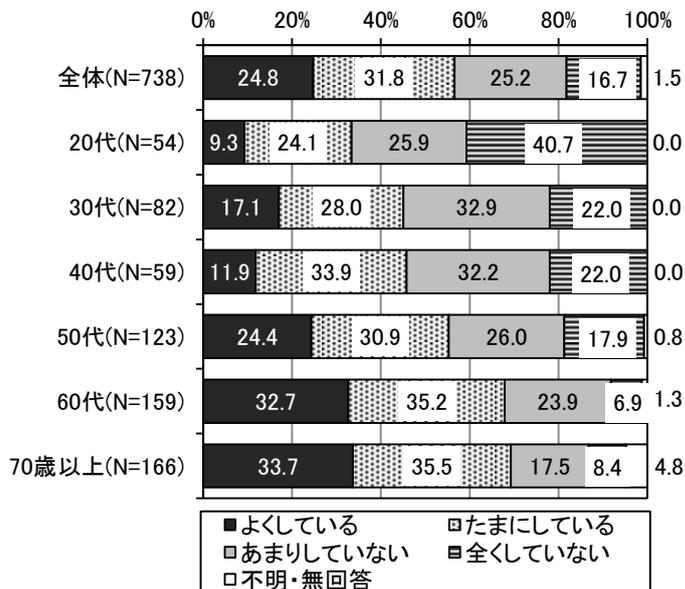


資料：健康くさつ21（第2次）アンケート調査結果

(4) 意識的な運動の状況 (年齢別)

意識的な運動の状況についてみると、年齢が高くなるほど運動している人が多い状況となっています。

■日頃から自分の健康づくりのために、意識的に運動をしているか

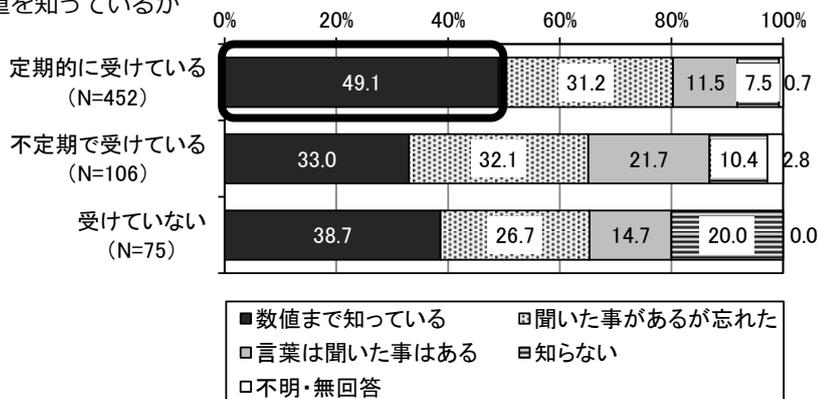


資料：健康くさつ21（第2次）アンケート調査結果

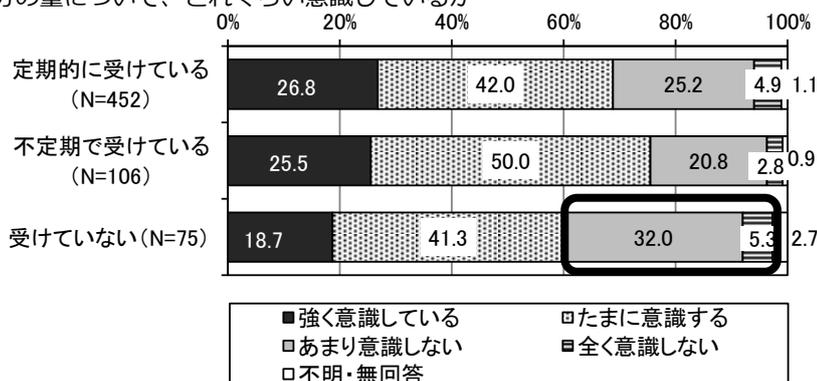
(5) ヘルスリテラシーに関する状況

健康に関する情報の認知度をみると、健診を定期的を受けている人ほど、健康に関する情報や知識を知っている場合が多くなっています。

■自分の適正体重を知っているか



■食事の時の塩分量について、どれくらい意識しているか



資料：健康くさつ21（第2次）アンケート調査結果

まとめ（草津市の現状）

- 草津市は平成 42 年まで人口が増え続け、その後ゆるやかに減少する見込み。
- 他市と比較すると高齢化率は低いものの、年々高くなっているほか、地域毎に状況は異なる。
- 大学生や 30 代から 40 代、60 代の人口ボリュームが大きい。
- 男女ともに全国平均よりも平均寿命や健康寿命が長い。
- 糖尿病に係る「HbA1c」の有所見率が、県内では有意に高い。
- 国保の 40～74 歳の人の受診結果をみると、医療費の 50%程度が生活習慣病に関する費用になっている（県平均では例年 45%程度）。
- メタボリックシンドロームの検査結果では、メタボや非肥満高血糖者が多い。
- 野菜の摂取量が少ないなど、生活習慣に課題がある。
- 65 歳以上の要介護認定者は他市と比較して少ないものの、75 歳以上で比較すると多くなる。